

文化発信の拠点として

～芸術の街左近山～



●Concept

左近山団地

×

芸術

= 街のアイデンティティ
人のつながり

●Analysis

左近山団地中央地区を「文化発信の拠点」にし、左近山団地のイメージアップを図ることを提案します。

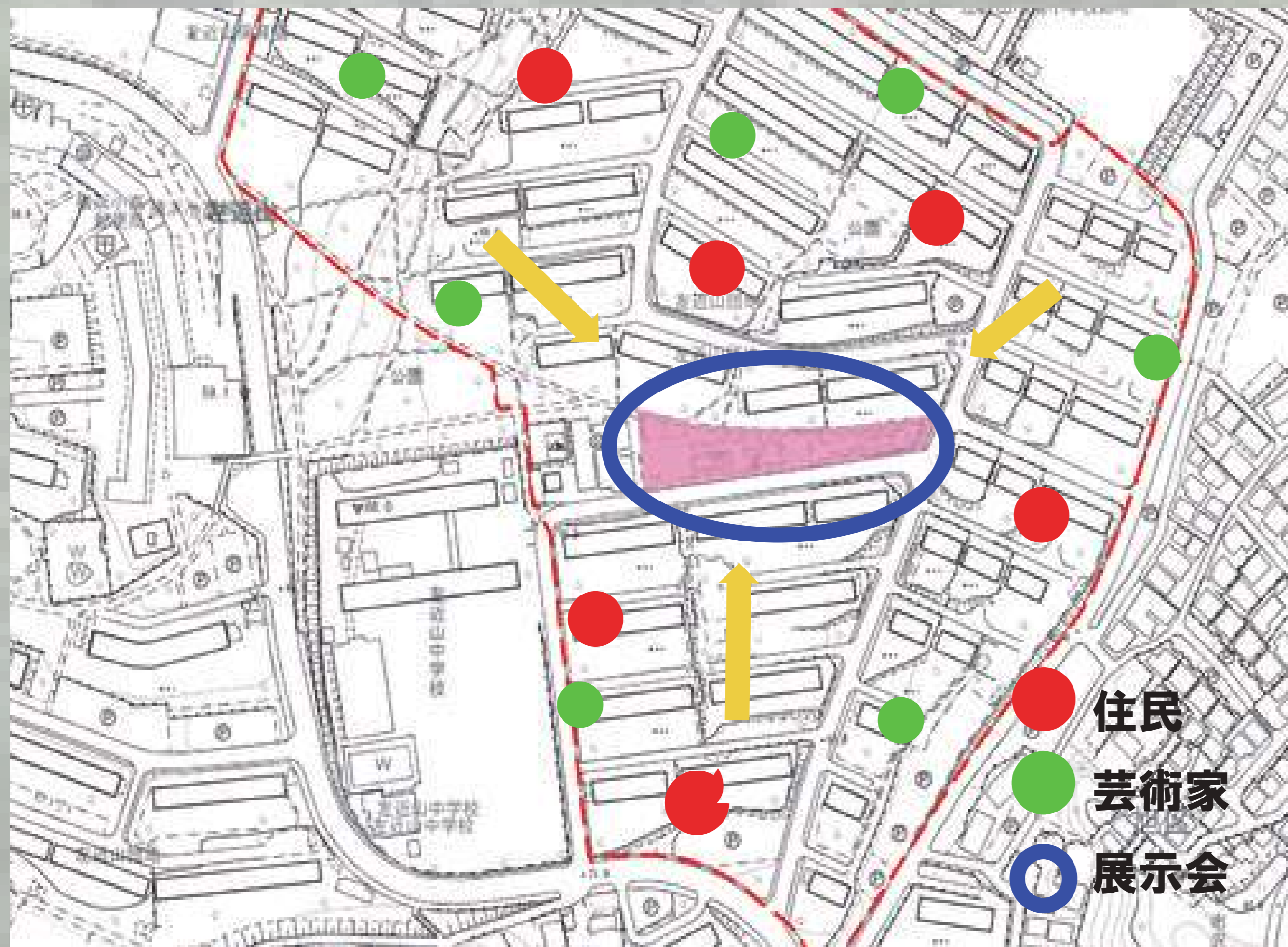
私たちが現地を視察した際、強く感じたのは周辺空間の素晴らしさでした。豊かな緑地環境やゆったりとした雰囲気、公園が多い等、子育て世代にとって魅力的な空間でした。それは他のマンションやアパートにはない魅力です。

では、なぜ子育て世代の流入が少ないのか。私たちは、現代の若者が持つ「団地」自体へのイメージがあまり良くないのではないかと考えました。確かに周りの友人に団地についての印象を聞くと、「昭和っぽい」や「薄暗い」というイメージがあるようでした。そこで私たちは、団地に新しい風を吹き込み、新たな魅力づけをすることが重要だと考えました。

そのためには単発的なハード整備を進めるのではなく、団地という空間をより文化的で魅力あふれる空間にすることが有効です。ここで魅力的な空間（以下、わかりやすくするために魅力的な街とした）の共通点はいったい何なのかを考えてみました。

私たちは街の魅力はその土地の文化度に比例するのではないかと考えます。近年では街づくりの一環として各地で行われる再開発によって暮らしの利便性が向上し、「人気」や「公共サービスの充実」が街の魅力の指標として重視されています。しかし本当の意味での「魅力的な街」とはそういった指標だけでは測れないのではないのでしょうか。

その土地の個性、歴史、そこに住む人たちの活力、住民同士の支えあいなど様々な要素が折り重なって、真の意味での「魅力的な街」、「文化的な街」が形成されるのだと私たちは考え、「文化の発信拠点として ～芸術の街左近山～」を提案をします。



①「文化発信の拠点」をつくる

②作品と住人をつなぐ場をつくる

③文化を通して、人と人をつなぐ仕組みや場をつくる

①について、私たちは文化を発信するためには「芸術の力」が不可欠と考えました。「文化発信の拠点」にするためにはアーティストが必要です。左近山団地中央地区には空き家が80戸あるとのことで、この空き家に志の高い若者を対象に、自分の作品を発信していくという条件で割安で呼び込みます。そして、集会所やI期整備地区等のスペースを展示室として活用します。気軽に自分の作品をアウトプットできる場を求める若者は多く、団地に住み始めた若者は一流のアーティストを目指すべく、まずは団地内で作品を発信していきます。対象とする若者に関しては、例えば美術系大学でアートや絵画を学ぶ学生を対象に募集をかける、あるいは新進気鋭として注目されているアーティストに声をかける、などを考えています。勿論美術系に限らず、写真や音楽を志す若者でも構いません。いずれにせよ、団地から文化を発信してくれる若者であれば問いません。

②について、①で述べたように集会所やI期整備地区等を展示スペースにし、気軽に団地住民が作品を楽しめる場所を作ります。新しい作品が展示されることによって、住民の楽しみの一つとなり、団地に活力を与えます。勿論、外部の人々が左近山団地に足を運びきっかけにもなります。また、今のところ左近山団地にはこれといった「団地の中心となる場」が見当りませんでした。この展示スペースを充実させることで団地の中心として機能するでしょう。

③について、作品が展示されるだけではありません。例えば、若手アーティストによる「絵画教室」を企画し、団地住民が気軽に参加できるイベントを開催します。できれば親子と一緒に参加できるようなイベントが良いでしょう。こういったイベントを通して、若者と住民、住民同士の交流も促進され、コミュニティ活性化を図ります。

この取り組みによって、左近山団地を「魅力的な街」、「文化的な街」にしてイメージアップを図り、子育て世代の流入を狙います。ここでのポイントは、「団地住民同士だけで団地を活性化できる」ことです。受け身では本当の意味での「魅力的・文化的な空間」は作り出せません。住んでいる人々の生活や活動が街の雰囲気を生み出し、魅力を創出します。特に左近山団地には十分な外部空間があるので、住民の活気を促すソフトの仕組みを作り出すことが重要です。ハード整備にお金をかけるよりも新たな仕組みを作り出したほうが良い、というのが私たちの結論です。

Stadio(空き家)



若手芸術家のスタジオへ

現在使われていない空き家を、若手芸術家のスタジオ兼自宅として活用する。多くの若手芸術家が活動する場として、のびのびと創作作業の出来る環境を整える。

Exhibition(I 期整備地区)

I 期整備地区を活用し、若手芸術家が定期的に自己表現を行える場、またそれを目的とする芸術家、訪問者、地域住民が交流できる場へと環境・仕組みを整える。



自己表現の場
集いの場へ

Class(学校、 集会所)

親子、地域一体となって楽しめる場へ

学校や集会所、公園、I 期整備地区を利用し、団地内に住む若手芸術家が地域住民を対象に教室等を行い、自分の持つ表現力や技術をアウトプットする仕組み・環境を整える。

